



まちかど座談会から

601人が参加、264件のご意見・ご提案がありました



7月から10月にかけて、市民の皆さんと市長が直接話し合う「まちかど座談会」を19会場で行いました。座談会の前半部分では、市長・副市長が市の課題や「ごみ減量20%」について語り、後半部分では、「ごみ問題」や市政・地域にかかわる皆さんのご意見・ご提案に対して、市長・副市長や担当部長が回答しました。今回はその一部をご紹介します。

問い合わせ▶秘書課

ごみに関する話題

雑がみの回収方法がわからない

問 紙類、特にダイレクトメールなどはどこへ持っていけばよいか。一般の家庭にもっと分かるように説明してほしい。

答 市民の皆さんがわかりやすい、出しやすい方法を検討中です。

問 雑がみを今年1月からリサイクルステーションで集めるようにしましたが、市民の皆さんへの周知が十分でなく、出し方が分かりにくいというの、ご指摘のとおりです。雑がみは分別方法が難しく、市も試行錯誤をしているのが実情です。現在、雑がみの分別方法を明確にする作業を行っており、決まり次第、市民の皆さんにはイラストや写真の付いた分別表をお渡しして、市内で統一的に行っていく予定です。

答 雑がみの回収方法は、例えば集団回収をしている地域もあります。ただ月1回の集団回収では部屋に溜まってしまい、ついつい燃えるごみに出してしまいがちです。一方、リサイクルステーションは現



リサイクルステーションに持ち込まれる雑がみ

在、市内に6か所しかなく、車に乗らない高齢者などにとっては、重いし遠いため、持ち込むのが難しい。そこで「紙ごみを燃えるごみとは別にして、容器包装プラスチックと同じようにごみステーションで回収できないか」という意見もごみ減量推進委員会の中で多数出ており、結論を出すまでにはもう少し時間がかかります。現時点では、リサイクルステーションへお持ちいただきたいと思えます。

ごみ袋を記名式にしてはどうか

問 ごみステーションに多くの人

はきちんと出しているが、きまり

ごみ袋を有料化してはどうか

問 可燃ごみの袋は約8円で売られている。一方、可燃ごみの処理に200円〜300円ほどの経費が掛かっているとのことであるが、ごみ袋を100円ほどに有料化してはどうか。環境クリーンセンターのごみピットがいつぱいで困っている、処理能力がいつぱいだというのであれば、そのことを明らかにし、全市民的な議論を進める必要があるのではないか。

有料化はごみ減量の有効な手段です

答 現在ごみ有料化を行っている岐阜県多治見市では、安城市の一番大きなごみ袋と同じものが50円となつています。同市が有料化を導入した平成7年には18円で、ごみの量はかなり減りましたが、再び増加したため、今から2年前に50円に引き上げたとのこと。同じく有料化を行っている東京都の町田市、日野市はともに80円で

に「燃えるごみ」としていたものを、資源として出すリサイクルの仕組みをセットで導入しています。日野市は燃えるごみの量が約50%減り、町田市は約20%減るなど、ごみ袋の有料化は、ごみ減量の有効な手段であり、導入した自治体の結果はほとんどが良好です。

いろいろな値段設定がありますが、有料化で成功した自治体は異口同音に、料金がある程度高くないと、ごみは減らなと言っています。また市のごみ減量推進委員会でも、リサイクルに回すルートをきちんと整備し、それと有料化がセットされると効果が上がるという意見が出ています。

一方で、税金を支払っているのに、ごみの有料化はおかしいという人もいます。市民の理解・同意のない有料化はかえって、ごみの不法投棄が増えるなど、うまくいかないとの話もあります。

オープンな議論がなければ皆さんに協力してもらえないと考えています。その第一歩としてごみ減量推進委員会で議論しており、会議の内容は市ホームページで見ることが出来ます。いずれにしても市民の皆さんに納得してもらおうことが一番大切なことです。その努力をしながら、ごみ減量推進委員会の答申を踏まえ、来年度に施策を考えていきたいと思えます。

が守れない人も多い。監視員を置いているが、誰のものを確認しないと指導もできない。ごみ袋を記名式にしたらどうか。また、現在のごみステーション方式と、道路に戸別に置かれたごみ袋を収集する方式にはそれぞれ良い点と悪い点があると思うが、どうか。

住民の合意が必要ですよ

答 和泉町と城ヶ入町では、町内会で自主的に記名式で行っています。しかし、市全体で考えると抵抗があると思われ、住民全体の合意が必要であると思えます。

戸別収集方式は、収集には手間と費用が多くなりますが、どの家のごみを出したかが分かかります。そして、出したごみがだらしなくと恥づかしいため、きちんと出され、ごみの量も減るものと思われ、記名方式と同じ効果があると思えます。ただし家屋が密集しているところは良いのですが、家屋や農地が混在している集落では効率が悪いです。

ごみステーションは、ステーションを管理する人にとっては負担ですが、集める手間や費用が少なく済みます。問題は、監視員がいないと分別できていないごみを出される恐れがあることです。分別ができていなければ、収集車で

リサイクルステーションの増設を

問 リサイクルステーションが足りない地域には新たに設置してほしい。

常設や臨時のステーションを設置するよう今後も努力します

答 市もリサイクルステーションが少ないと考えており、増やす方向で努力しています。常設のリサイクルステーションを設置する方法や、例えば週1回だけ、スーパーの一角で臨時リサイクルステーションを開くという方法が考えら

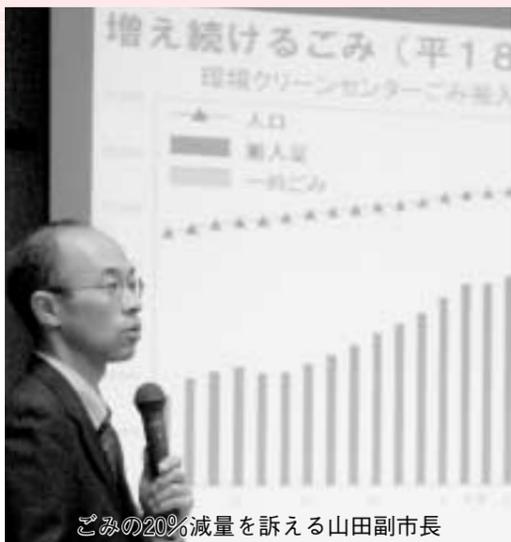


ごみに関する話題

生ごみやせん定枝を畑に還元するよう働きかけを

問 ごみステーションを見ると、以前に比べ、生ごみやせん定枝が増えている。畑や農地を持つ人には、できるだけ畑などに戻すように伝えなければならぬのでは。生ごみは畑や庭に還元を。生ごみ処理機を購入してごみ減量にご協力ください

答 せん定枝は、せん定枝リサイクルプラントでたい肥化しています。しかし持ち込まれたものうち、処理能力以上のものは環境ク



ごみの20%減量を訴える山田副市長

リーンセンターで焼却処分しているのが現状です。現在、このプラントの能力を3割ほどアップしようという計画はありますが、環境アセスメントが必要で、2年程度の期間が必要です。増設する場合は、せん定枝だけでなく、野焼きしやすい土の草も、たい肥化できるような計画を進めています。

生ごみについては、農家には畑に埋めるように、マンション住民や庭の広くない住民には生ごみ処理機を購入してもらい、たい肥化し庭などに還元してもらいたいと考えています。

市政一般にかかわる話題

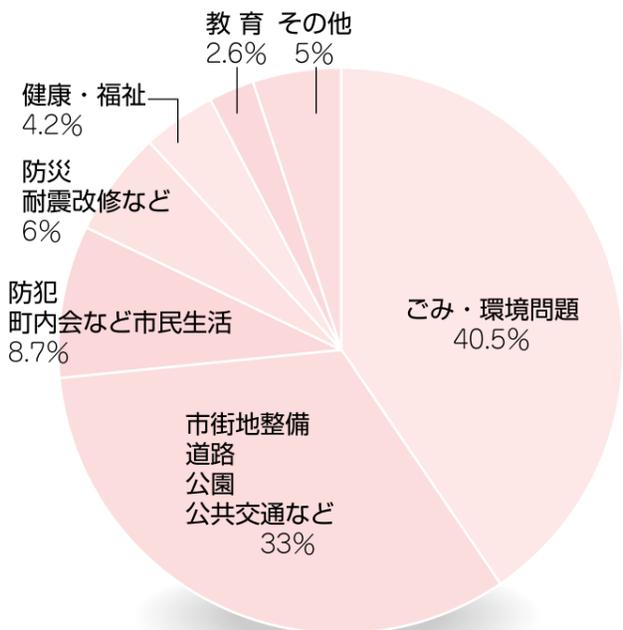
自転車道は生活面を重視して整備してほしい

問 現在の明治用水緑道の使用は、健康維持のためという側面が強い。生活面から考えると、住宅地と商店、駅、公共施設を相互に自転車で行き来しやすいよう、自転車道を整備してほしい。

自転車と歩行者の双方が安全に通行できるような整備を進めます

答 自転車でどこを走れば良いかを考えなければなりません。例えばJR安城駅から碧海信用金庫本店までの電線地中化にあわせて歩道の改修などを行い、歩行者と自転車の安全を図っていきます。

ご意見・ご提案の内訳



また片側2車線を片側1車線に減らしてゼブラゾーンを設けた幅員に余裕のある道路では、ゼブラゾーンをやめて、モデル的に、歩道側に自転車を通れるカラー舗装を施して、自転車レーンを設置する計画を作っています。道路交通法の関係もあり、すぐにはできませんが、公安委員会などと話し合いをし、再来年には実行したいと思っています。そして効果があれば、自転車レーンを線でつなげるようにしたいと考えています。

公共交通機関として路面電車を走らせてはどうか

問 JR安城駅と安城更生病院間1.5kmに路面電車を走らせるべき。環境首都・安城を目指すためやCO2削減のため、思い切ったことを考えないと、その実現は難しい。今ある公共交通機関を充実するので、皆さんに利用してほしい

答 JR安城駅と安城更生病院間に路面電車を走らせることは、環境面から考えると良いアイデアだ



市政への様々な提言が寄せられました

新安城駅と安城更生病院間の名鉄バスが廃止されることの話があるが

問 新安城駅から安城更生病院までの名鉄バスが廃止されると聞いているが、現在どのような状況か。廃止になった場合、あんくるバスを運行するのか。

路線の存続に向けて、精一杯の努力をします

答 市内の名鉄バス路線は、新安城駅からJR安城駅・安城更生病院までと、JR安城駅から東岡崎駅までの路線です。東岡崎駅行き

あんくるバスの運行方法を見直す予定があるか

問 あんくるバスの見直しについて教えてください。また、土・日曜日を中心にノーカデーの日の設け、無料にし、市民の足として有効利用できるか。

投資効果を踏まえて、見直します

答 現在、7路線が走っています

が、区画整理で道路も変わり、新しい施設もできることから全面的な見直しの準備に入っています。経費節約のため、1路線1台のバスで運行しており、7路線ですべての町を通るので、1つの路線が非常に長いものとなっています。見直しをする中で、多くの人に利用してもらうために利便性の向上を考えた場合、人件費など運行経費がかなり増加することが予想されます。現在料金が100円のため、赤字額はさらに増えることとなります。利便性が、経費か、どちらを選ぶかを市は検討しなければなりません。

提案にあった土・日曜日のノーカデーの無料化については考えていませんが、1日フリー切符のようなものを検討してみます。



市政一般にかかわる話題

無料耐震診断をしても、多額の費用がかかる耐震改修はできない

問 この地域は、東海・東南海地震の可能性があり、活断層も猿投から大高・高浜に延びているものがある。中越沖地震では、住宅が倒れ、亡くなられた人が何人かいた。あの地域は中越地震以後、耐震診断は進んでいたであろう。しかし診断はしたが、耐震強度1.0以上の耐震改修するには数百万円が必要である。安城市では60万円の補助があると聞くが、いつ来るかもわからない地震に対して、多額の費用をかけることができない。簡易な耐震改修を補助対象とするよう検討中です

答 安城市は、平成14年に地震防災対策強化地域に指定されました。そのため、市の補助により、無料耐震診断を実施してきました。今年度以降も同様に制度がありますので利用してほしいと考えています。

平成14年から18年までに2440件の無料耐震診断を行いました。その結果、1434件、58%強の

家が、危険とされる耐震改修の必要な強度0.7未満とされました。平成15年からこの改修に60万円を補助することとしています。平成18年度までに174件しか応募がありませんでした。この174件の耐震工事を調べると、平均16万円の改修費用がかかり、補助額の60万円を除く残り約86万円が自己負担となります。耐震改修件数が少ないのは、自己負担が多額になることにより敬遠されたり、近々建て替えの計画があったりするなど、様々な事情があるようです。

来年度、無料耐震診断の対象となる家屋には、再度文書で診断をお願いする予定です。今までの耐震改修の補助金のあり方は、ある規模の地震が来ても家全体が耐えられるように補強しようというもので、数百万円の見積もりとなつた場合もありました。そこで、耐震強度が1.0以上の数字とならない改修でも、建物全体のバランスを保ちつつ補強することにより、生きる空間・救助まで待てる空間を確保するなどの簡易な改修も補助対象とするよう、前向きに検討していきます。

農業を楽しむアグリライフ構想について

問 高齢化により農家の戸数が減少している。水田は営農組合に預かってもらえるが、畑は作り手がなく、困っている地域もある。アグリライフ安城(農のある暮らし)ということで、農業を少しでも行う人が増えれば農家としてもありがたい。

団塊の世代の生きがいづくりのために、現在基本構想を策定中です

答 アグリライフ構想、具体的には市民農園ですが、今年度、基本構想の策定を進めており、ワークショップを開催しながら、様々な面から調査・研究したいと考えています。目的の一つは、退職を迎える団塊の世代の生きがいづくり



アグリライフ基本構想を策定中です

える団塊の世代の生きがいづくり対策。また、集落の中の畑は、若干遊休農地も出つつあり、今後ますます農家の高齢化が進めば遊休農地が出てくる心配がありますので、それをいかに抑えるかが重要です。現在、市民農園の整備手法、市民農園での指導体制、さらには初心者が市民農園で趣味的に野菜栽培ができるようにするための農業研修施策などについて検討しています。今年度中には構想ができ、その構想に基づき準備を進め、実施時期はもう少し先になりますが、皆さんの期待に沿えるよう計画していきます。

地元の駐在所が廃止され、隣町に交番として統合されるが、安全安心は

問 市内南部地区は犯罪が多発しており、治安が悪い。駐在所が中学校区単位の交番に替わると聞いている。和泉駐在所が廃止され根崎に交番ができるとのことだが、どのような体制か。今より安全安心につながるのか。

1中学校区1交番。警察官が常時いて、パトカーの巡回で防犯効果も高まります

答 交番は愛知県警察安城警察署の管轄であつて、1中学校区に1つ

の交番にすると聞いています。明祥地区は和泉と根崎にあつた駐在所が1つの交番となります。駐在所は1人の警察官が住んでおり、大きな事件で借り出されたり、交通取り締まりで手伝いに行つたりするなど留守が多いとのこと。交番になると2人勤務の3交代制、6人の警察官が交代で24時間詰めることになり、交番が空になることが少なくなります。また、交番にはパトカーも置かれ、赤い回転灯をつけたパトカーが地域の巡回もしますので、防犯効果が高まると考えられます。

新しい市民活動センターの計画は

問 環境首都をめざすため、市民の担い手を増やさなければならぬ。市民活動の拠点となる、新しいわくわくセンターを建設する話があるが、具体的な計画を教えてください。

平成21年度末に大東町に移転。市民活動拠点の充実を図ります

答 わくわくセンターは現在、秋葉公園の一角にあります。手狭になっていきますので、大東町にあつた中央精機株式会社駐車場跡地に、平成21年度末に移転する計

自然に親しめる公園を作つては

問 自然のまま、例えば原っぱがあり、少し雑草が生えているとか、土手があるような公園整備ができないか。将来、年老いたときに、果たして今のような公園で楽しめるであろうか。子どもたちが自然に親しめるのか。かつての「日本デンマーク」を感じられる公園、自然の力を見直すことができる公園ができないものか。

地域の人々の意見を反映し、公園整備を進めていきます

答 公園の計画は、市が一方的に作るのではなく、その地域に住んでいる人の意見を聞いて設計をしています。「原っぱで良い」という声でなく、「あれもこれも欲しい」という地域の人々の声をかなえた結果として、今あるような公園になっています。地域の声が「自然のままが良い」となれば、それの良い考えであると思います。

あなたの意見で安城を育てよう

◆「ご意見BOX」で市政へのご意見・ご提案をお寄せください

「ご意見BOX」の用紙を使えば、思い立ったときに記入し、切手をはらずに郵便ポストに投かんすることができます。ご意見・ご提案などには、すべて市長が目を通します。安城市をさらにすばらしいまちにするために、ご意見・ご提案をお待ちしています。

※用紙は、市役所、各地区公民館などに置いてあります。

※現場確認や関係機関との調整が必要な場合は、回答にお時間を

◆「市長へのメール」もご利用ください

市長へメールでご意見・ご提案を送ることもできます。(市ホームページ)↓市長のページ↓市長へのメール)

◆市の業務についての簡易なお問い合わせなどは、市の代表メールアドレスinto@city.anjo.aichi.jp または各課・施設へ直接お願いします(市ホームページ)↓各課・施設メールアドレスで選択)。